

海で遊ぶときは お子様へ手の届く場所で！ 目を離さないで！

北海道では、過去5年に52名の方が遊泳中の事故に遭っており、その半数以上が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。

海水浴など、海辺での活動は、子供から目を離さないことはもちろん、子供へ危険が迫った時にすぐに助けられる場所で、安全に十分配慮してください。

遊泳中の事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」を必ず利用してください。

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があります。悪天候では予定を変更する勇気も必要です。子供との約束もあるかもしれませんが、命には代えられません。

●お子様を傍で見守り、無謀な行動はさせない

溺れるときは一瞬、音もなく静かに沈みます。子供のピンチを見逃さず、笑顔で帰宅してください。準備運動、適度な休憩も大切です。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は118番です。



北海道教育委員会
第一管区海上保安本部

お子様が、友人同士で海へ遊びに出かけるときは、保護者の方からもご指導をお願いいたします。

北海道では、過去5年に52名の方が遊泳中の事故に遭っており、その**半数以上が20歳未満**です。

遊泳中の事故は、一瞬にして**命を落とす**危険があります。特に、体力のある**中学・高校生の死亡事故**が多く、事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。

事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「**海水浴場**」の**利用**をお願いします。

お子様の元気な「ただいま!」
が聞けるように…

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の**事故の9割以上**を占めます。

その他、思わぬ事件・事故に巻き込まれる可能性もあります。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があり、遊んでいる途中でも変化します。白波が立っていないか、風が強くなっていないか注意が必要です。

●無謀な行動をしない

海では見た目では分からない強い流れや突然の大波、急な深みがあり、泳ぎが得意でも溺れる危険があります。

10代後半では「無謀な行為」が原因の死亡事故が多く発生しています。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は**118番**です。

行先、帰宅時刻の確認をし、元気な「ただいま!」が聞けるように…


Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



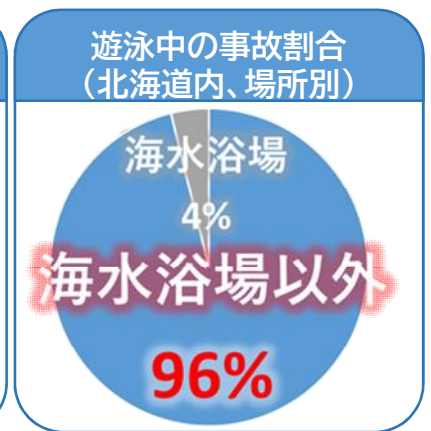
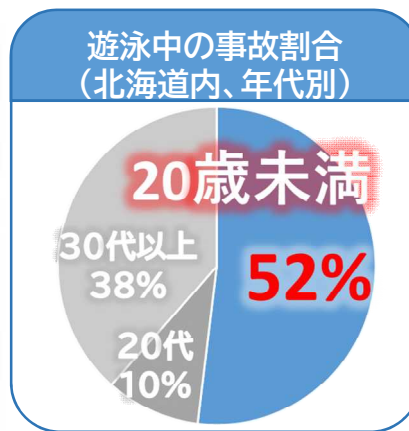
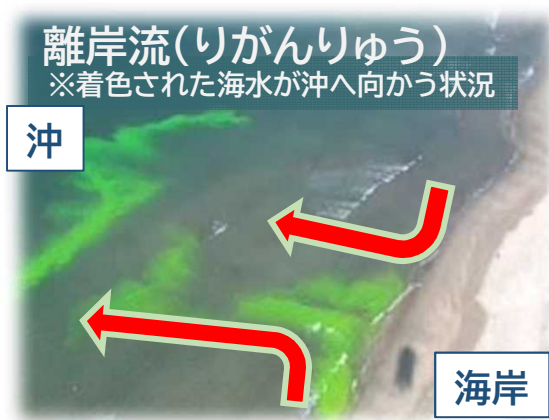
北海道教育委員会

第一管区海上保安本部

海で安全に楽しむために

北海道では、過去5年間で52名の方が遊泳中に事故に遭っており、その**半数以上が20歳未満の子供**です。

海には「沖へ向かう流れ(離岸流)」や「深み」など、**目に見えない危険**があります。海水浴などで海辺へ一緒に行く場合は **お子様から目を離さない**ようにお願いします。



● 遊泳は、開設された海水浴場を利用しましょう ●

開設された海水浴場とは、自治体等により管理運営されている海水浴場

- ・ライフセーバーや監視員がいる

万が一の時には**すぐ救助**が来る

- ・水上オートバイやボートなどは規制されていて入ってこない

船舶との接触は大怪我の危険

- ・定期的なゴミ拾いや水質検査により、安全に利用できます

一番大事なのは、風や波が強いとき、体調が悪いときは海に入らないこと!!

海水浴場の開設情報は、北海道庁ホームページにて公開されています。

●海の安全情報は**こちら**

海上保安庁ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁

●海水浴場一覧は**こちら**

北海道

海水浴場情報

危機対策課・スポーツ振興課